

新年のごあいさつ

県・農業関係団体組織連携して、
大規模化する農業災害に備える

新年あけましておめでとうございます。

令和3年の正月をどのようにお過ごしでしょうか。昨年発生しました新型コロナウィルス感染症は全世界に広がり、日本中が楽しみにしていました東京オリンピックも延期となりました。旅行はも

と、7月豪雨では、県南部を中心に県内全域で大きな被害が発生しました。水稲共済では、土砂の流入などで収穫皆無耕耘地が多数発生するなど大きな被害を受けました。園芸施設共済では、ハウスが倒壊し、冠水の影響で内作物にも被害が発生しています。また、台風9号、10号では果樹共済で、果実の落果やキズ果が発生、園芸施設共済でもビニールが破れるなどの被害が発生しています。この他にも、水稻共済では、ウンカによるツボ枯れが発生するなど、さまざまな被災が発生しました。被害を受けられた農家の皆さまを始め、被災された全ての方々に、あらためてお見舞い申し上げます。

このような状況を觀ますと、一昨年よ本の農業はどうなるのだろうと本当に心配していました。まだまだ被災地の復旧には時間がかかりますが、皆さまにお月を迎えるという楽しみが一変したのではないかでしようか。一日も早いワクチン接種が可能となり、從来の生活に戻ることを祈っています。また、7月4日の人吉、芦北地方を襲った豪雨災害。9月に襲いました台風9号、10号など、今まで経験したことのないような風速と報道され、熊本の農業はどうなるのだろうと本当に心配しました。まだまだ被災地の復旧には時間がかかりますが、皆さまにお

見舞いを申し上げますと共に一日も早い復旧を祈っています。

さて、昨年の被災状況を振り返りますと、7月豪雨では、県南部を中心に県内

全域で大きな被害が発生しました。水稲共済では、土砂の流入などで収穫皆無耕耘地が多数発生するなど大きな被害を受けました。園芸施設共済では、ハウスが倒壊し、冠水の影響で内作物にも被害が発生しています。また、台風9号、10号では果樹共済で、果実の落果やキズ果が発生、園芸施設共済でもビニールが破れるなどの被害が発生しています。この他にも、水稻共済では、ウンカによるツボ枯れが発生するなど、さまざまな被災が発生しました。被害を受けられた農家の皆さまを始め、被災された全ての方々に、あらためてお見舞い申し上げます。

NOSAIは、一戸一戸の農家を支え、地域農業を護り、あわせて少子高齢化が進む地域社会を支える力とならなければならぬと思います。

NOSAIは、今年も県や市町村、JAと一休となつて皆さまの営農と地域を護る活動に取り組んで参ります。組合員の皆さまのより一層のご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げ、年頭の挨拶といたします。



組合長理事
池田 裕之

本年もよろしく
お願ひ申し上げます

臨時総代会開催

全3議案が可決承認



提出された議案

第1号議案

令和2年度業務収支予算の変更について

第2号議案

事業規程の一部変更について

第3号議案

令和2年度業務収支予算の変更について

付帯決議

◆第1号議案 (概要)

※臨時総代会は、新型コロナウィルス感染症への対策を実施した上で開催しています。

◆第2号議案 (概要)

投票所施設名の変更による投票所の変更と、総選挙の投票所の変更について

◆第3号議案 (概要)

令和2年度業務収支予算の変更について

概要

◆第1号議案 (概要)

「一定款の一部変更について」

◆第2号議案 (概要)

「事業規程の一部変更について」

◆第3号議案 (概要)

「令和2年度業務収支予算の変更について」

（概要）

（

熊本県農業共済組合は 設立20周年を迎えました

平成12年に、全国の農業共済組織に先駆け、県下組合となりました熊本県農業共済組合が、令和2年4月をもちまして設立20周年を迎えることができました。ひとえに皆さまのご支援があつたからこそあります。ご支援いただいた皆さまへ、厚くお礼申し上げます。

また、10月23日（金）には、農林水産省経営局保険監理官、熊本県知事、熊本県議会議長、全国農業共済協会・全国農業共済組合連合会会長理事を来賓に迎え、設立20周年記念大会を熊本ホテルキャッスルにて開催しました。大会スローガンの

- より広く、より深く、農家のもとへ
- 届けよう備えの種、
実らせようNOSAIの未来

※記念大会は、新型コロナウイルス感染症への対策を十分に実施した上で開催しています。



記念講演を行う、高橋全国農業共済協会・全国農業共済組合連合会会长理事

農業共済の ニーズ調査について

地域農家の皆さまのニーズを把握することを目的として、「畑作物共済」および「果樹共済」で、現在熊本県で共済対象となっていない品目（共済目的）、または実施していない事業について、ご意見・ご要望を募集します。なお、ご意見・ご要望については、次のとおり受付します。

ご意見・ご要望
の受付先

熊本県農業共済組合 本所 企画広報課まで
電話：0964-25-3202 FAX：0964-25-3232 mail：honsho-kikaku@nosai-kumamoto.or.jp

畠作物共済

【現在実施している共済目的】

ばれいしょ、大豆、蚕繭

【現在実施していない共済目的】

小豆、いんげん、茶、そば、
スイートコーン、たまねぎ、
かぼちゃ

【現在実施している共済目的】

なし、くり、うんじゅうみかん、なつみかん、指定かんきつ
(不知火、清見、河内晩柑、ぽんかん、ネーブルオレンジ)

【現在実施していない共済目的】

いよかん、りんご、ぶどう、もも、おうとう、びわ、かき、
うめ、すもも、キウイフルーツ

【現在実施していない事業】

果樹の樹体共済…樹体の損害を対象とする共済事業

国税局よりお知らせ

確定申告書にはマイナンバーの記載が必要です。

確定申告書にはマイナンバーの記載が必要です。

また、マイナンバーを記載した確定申告書を税務署へ提出する際には、本人確認書類の提示又は写しの添付が必要です。

《本人確認を行うときに使用する書類の例》

例 1：マイナンバーカード

例 2：通知カード及び運輸免許証や公的医療保険の被保険者証など

詳しくは、国税庁ホームページ (<https://www.nta.go.jp/>) をご覧いただけ、最寄りの税務署にお尋ねください。



おじゃましま～す!!



あか牛に魅せられて

南小国町

まえだ 前田 ゆうすけ 裕介さん(25歳)



①一人暮らし
②繁殖牛5頭

東海大学農学部在学中の農業研修で、阿蘇の草原で悠久と過ごすあか牛を見て、いつか自分も育てたいと思い畜産を志しました。卒業後に入吉で1年間の修業した後、阿蘇の畜産関係者に説かれ南小国に移住しました。そこで、さらに2年間の修業をして、昨年4月に新規就農しました。

周年放牧は、牛にストレスをかけず、伸び伸びと育つことができました。牛のゆったりとした姿と人懐っこさにはとても癒されますね。

運動が好きで、週に1、2回バレーボールやソフトサルで汗を流しています。心掛けることは、魅力あるあか牛の育成です。人工授精師の免許を生かして種付けから育成まで行い、増頭して自分の畜舎を建てたいです。



①兄・両親と妻、子ども4人の8人家族
②弟・妻と子ども3人の5人家族
③乳牛83頭、和牛繁殖牛33頭



家族力を合わせて

なか 田中 写真左 正輝さん(39歳)・弟 田中 写真右 直紀さん(35歳)

兄弟で別々の会社で働いていましたが、酪農をするために退職しました。就農して私は(正輝さん)が担当し、私が牛床管理と堆肥処理関係を担当しています。

就農前は食品を扱う仕事をしていましたので、食品の安全性や衛生面には特に注意しています。消費者が安心して食べられる食品が提供できるよう皆で協力して頑張っています。

また、労働時間の短縮、定期的な休日を設けるなど、労働環境を見直しも図っています。

今後も規模拡大を目指にして、家族みんなで仲良く経営していきたいと思っています。



畜産で毎日が充実

くまべ 限部 英輔さん(32歳)



①妻と2人家族
②繁殖牛30頭、子牛9頭

税理士を目指し大学に進みました。が、何が違うと感じ畜産を選択しました。卒業後は、両親と兄が酪農を當る有限会社限部牧場に就職。家畜に繁殖牛7頭で新規就農しました。今は酪農とは違う牛の体調管理や飼量の調整など苦労しています。友人たちのアドバイスに助けられながら、試行錯誤して頑張っています。

昨年、現在の畜舎を紹介していたとき、母牛を30頭に増頭。人工授精では、牛をしっかり観察し、データも積み重ねて繁殖成績を向上させていきたいと思います。

牛の管理に責任を感じ、不安もありますが、毎日がとても充実しています。今後は、母牛を50頭まで増頭し、経営が軌道に乗ったら、さらなる規模拡大を目指したいですね。

毎日一生懸命頑張っている組合員さんにお聞きしました。

①家族構成 ②経営内容



成長して不安払拭

なか 田中 まさえ 雅也さん(27歳)

養護施設で働いていましたが、父から「帰ってきて農業を手伝ってください」と連絡があり、就農を決めました。その後1年間は多良木町のトマト農家で研修を受け、2011年5月に就農しました。

就農した年に補助金を受けて4棟のハウスを建て、トマトとキュウリを作っています。トマトは水管化非常に難しく、去年は尻腐れで収穫できなかったり、単価が安かったりと苦労が多く大変です。両親の助けやトマト部会の交流でアドバイスをもらいながら、試行錯誤を重ね、日々農業に励んでいます。

現在、ハウスの支払いも残っています。今後は、生まれたばかりの子どものために、自分が成長し、年々技術を向上させて頑張っていきたいですね。



①妻と子どもの3人家族
②トマト20㌃、キュウリ7.5㌃

感謝の気持ちで営農

もと やまと 本山 ともり 智義さん(33歳)



①祖父母と両親、妻、子ども3人の9人家族
②トマト120㌃、水稻50㌃、オクラ18㌃、露地野菜10㌃

高校卒業後、NEC九州で働いていましたが、子どものころから両親の働く姿を見ていた影響で、農業を継ぎたい思いが強くなりました。2年前に就農しましたが、前の職場の方々の後押しによっても助けられました。その恩返しのためにも、日々の作業を頑張っています。

丸トマトに加え、試験的にミニトマトの栽培も始めましたが、栽培管理に苦労しています。「ロナ禍で情報交換する機会が少ないですが、消防団や青年部で、情報交換していくのが良い品質のトマトを収穫できます。より良い品質のトマトを収穫できることよろ、田さんの栽培に役立てたいですね。

今後も両親や周囲の人への感謝の気持ちを忘れず、両親と協力しながら、安定した経営を目指し頑張っていきたいです。



①母と伯父の3人家族
②繁殖牛11頭、子牛8頭



牛ファースト

さか ちと 坂本 しょうた 伸太さん(34歳)

県外で働いていましたが、牛が好きだったので、30歳のときに実家の繁殖肉牛経営を継ぐために帰りました。それから叔父の下で3年間修業を積み、昨年、独立して新規就農しました。

現在の目標は、腹づくりのできた子牛を生産し、購買者に喜んでもらうことです。この仕事を始めて半年経ったところから子牛の育成を任せていましたが、独立した今でも、血統や産歴、飼料など、気を付ける点は数多くあります。牛1頭1頭には上解がないので、牛1頭1頭の経営も引き継いで、母牛を30頭程度まで増やしたいですね。

現在は、母牛11頭で経営しています。将来的には、師匠でもある叔父の経営も引き継いで、母牛を30頭程度まで増やしたいですね。